

元ボクシング世界王者 兄弟の絆

元 WBC 世界ミニマム級王者 重岡優大を IBF が表彰

2025 年 5 月 24 日にインテックス大阪にて行われた IBF 世界ミニマム級タイトルマッチの試合後、重岡銀次朗選手が意識を失い、右硬膜下血腫によって緊急手術が行われ、JBC の規定によりライセンスが自動失効となりました。元 WBC 世界ミニマム級王者である兄の重岡優大氏は、熊本県内の病院にてリハビリ中である弟の治療を支えるため現役を引退することを決め、8 月 13 日に表明を行いました。

この引退にあたり、国際ボクシング連盟 (IBF) が重岡優大氏に敬意を表し特別チャンピオンベルトを授与することになりました。授与式は 2025 年 9 月 21 日 (日) 午前 11 時、地元である熊本県のイオンモール宇城で開催される JBC/WBC CARES JAPAN において、JBC にて執り行われる予定となっています。また、同会場では重岡銀次朗応援募金を設立し、ゲストの具志堅用高氏がチャリティサイン会を行い、収益金は全額寄付をします。

IBF 会長ダリル・ピープルズは、「あなた (優大氏) は多くの人が下すことのできない決断をしました。それはあなたの責任感、人格の深さ、兄弟愛を示すもので、あなたの選択はどんな賞賛にも匹敵しないほどの尊厳があります。また銀次朗選手は戦士であり、彼の強さと不屈の精神が再び輝きを放つことを信じています。」とし、優大氏を IBF 名誉チャンピオンとして正式に認定するとしています。



一般財団法人 日本ボクシングコミッション
東京都文京区後楽 1-3-61 東京ドーム内
電話番号: 03-3816-5761 (本部)
担当: 小池 幸弘



【重岡 銀次朗 応援募金】

元IBF世界ミニマム級チャンピオンの重岡銀次朗は、2025年5月24日に行われたIBF世界ミニマム級タイトルマッチで試合後、採点結果を聞いていた最中に意識を失い、大阪市内の病院に搬送され、右硬膜下血腫により開頭手術を受けました。JBC規則の規定では開頭手術を受けた選手の試合出場について安全面の理由から許可しないため、ライセンスが自動失効となり現役引退となりました。6月下旬に集中治療室 (ICU) から一般病棟へ移り、8月6日に大阪市内の病院から故郷の熊本県内の病院へ転院。8月13日には兄の優大が現役引退を表明し、今後は銀次朗を支えていくとしました。銀次朗は、現在も熊本県内の病院で懸命に闘っています。



私たちもなにかになれることはないか、協力できることはないかと考え、今大会で『重岡 銀次朗 応援募金』を行うことにしました。今回の募金、チャリティサイン会の収益の全額を重岡 銀次朗の治療やリハビリ等の費用に使用していただくため全額寄付いたします。皆様も銀次朗、それから銀次朗を支える兄の優大やご家族にぜひ応援、ご協力をお願いいたします。

**会場にある募金箱やチャリティサイン会
へのご協力をお願いいたします！**

みんなで銀次朗を応援しよう！